

平成 26 年度「英語能力判定テスト」における 新東淀中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4 技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
 - (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立中学校 全生徒

3 実 施 日 ・ 3 年 生 平成 26 年 10 月 27 日（月）
 ・ 2 年 生 平成 27 年 2 月 4 日（水）
 ・ 1 年 生 平成 27 年 2 月 4 日（水）

4 内 容

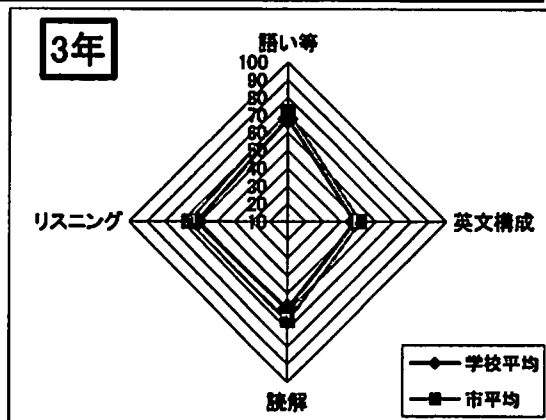
学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テスト D	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テスト E	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テスト F	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

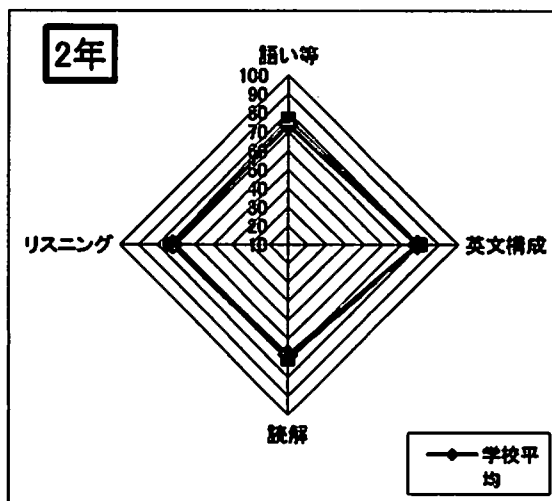
*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 新東淀中学校

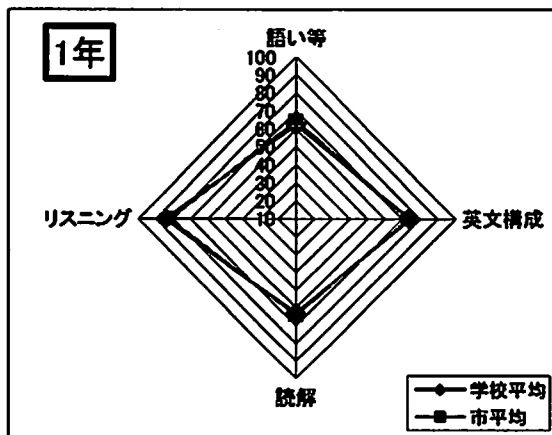
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	67.9	47.9	58.7	61.7
市平均	72.2	51	65.6	66.4



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	73.7	78.6	68.5	71.6
市平均	76.8	80	70.7	73.3



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	62.6	73.9	63.4	84.3
市平均	64.4	73.4	64.1	82.4



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル:スコア 0～460点

＜結果の概要＞

【語い等】【英文構成】【読解】【リスニング】の4つの分野において市平均値を下回っていた。特に【読解】においては差があった。全般的な基礎学力の底上げが必要である。

＜結果をふまえた今後の取組＞

【語い等】の分野を定着させる活動を今後考えていく必要がある。また、短時間ではなかなか定着しない分野でもあるため、1年時から3年間をみすえた取り組みや活動を構築することも考えなければならない。

2年 英検4～5級レベル:スコア 0～400点

＜結果の概要＞ <前年度1年時>に、【市平均】より最も下回った「語い・熟語・文法」(55.1%:【市平均】83.3%)が、<今年度>は、73.7%:【市平均】76.8%へ大きく上昇し、【市平均】に近付けた。また、【英文構成】「リスニング」「読解」の分野でも、居きこしなかったが、【市平均】に近い正答率にまで上昇し、「英文構成」及び「読解」においては、<本校の前年度2年生>を上回った。本校の平均スコアも、<前年度1年時>340点満点中200.6点(【218.6点】より5.3%↓)から、<今年度>は400点満点中258.2点(【266.5点】より2%↓)まで得点が上昇した。「英検4級程度の生徒」が、受験者数195人に対して109人(56%)で、大阪市の目標である「卒業時に英検3級程度の生徒を30%以上」に向けて、まずまずの途中経過であると判断する。

＜結果をふまえた今後の取組＞ 次年度も「語い力」向上を1つの「重点課題」とし、「語いなど」「英文構成」「読解」「リスニング」の何れかの分野において1つでも【市平均】を上回ることを目標に入れ、また「読む」「書く」「聞く」「話す」の4領域を統合的に運用出来る力が付けられるよう、様々な取り組みや工夫を引き続きしていきたい。

1年 英検5級レベル:スコア 0～340点

＜結果の概要＞

「英文構成」(73.9%【市平均】73.4%)及び「リスニング」(84.3%【市平均】82.4%)では、市平均を上回った。しかし、「語い等」及び「読解」においては市平均を低くしながら下回る結果になってしまった。平均スコア(228.9%【市229.8】)は、市平均とほぼ同じ結果となった。本校の前年度からは28%と大幅に上回った。

＜結果をふまえた今後の取組＞「読解力」の向上には、「語い力」の向上が欠かせない。そのためにも単語に興味をもたせる指導を行ってきたい。そして、結果として「読解力」の向上にもつなげていきたい。「英文構成」「リスニング」についてはさらなる向上を目指し、学習内容を発展させたい。